

ありがとう!! 笑顔のつながるまちに

かすみがうら市議会議員

来栖じょうじ活動報告

発行責任者 来栖丈治

〒300-0136 かすみがうら市戸崎 1110 番地 TEL.029-893-3339 FAX.029-893-3337

2022 年 12 月号 URL <http://www.j-kurusu.com> MAIL info@j-kurusu.com



8月30日から9月21日まで、令和4年度第3回定例会が開かれました。令和3年度一般会計の決算認定をはじめ議案17件、請願1件、委員会発議1件を慎重審議し、いずれの議案等も可決されました。

本議会では、議案第42号において、市民が手数料以外の税金や使用料をキャッシュレス決済で納付できる環境を整えることになりました。議案第44号一般会計の補正予算では、地方創生臨時交付金を活用し電子図書館を導入、電子書籍1000タイトルが令和5年1月から順次利用開始できる予定です。

令和3年度かすみがうら市決算概要

令和3年度の一般会計、特別会計（国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計）の決算額は、前年度と比較して、歳入が7.4%の減、歳出が9.7%の減となりました。一般会計の歳入歳出が減額されたことで、歳入で24億3,511万1千円の減、歳出で31億2,082万3千円の減となりました。

一般会計の決算総額は、歳入歳出それぞれ219億2,319万7千円で、決算額では歳入217億4,186万1千円で前年度より28億4,898万6千円の減額、歳出204億6,468万3千円で前年度より34億428万円の減額となり、歳入歳出差引額は12億7,717万8千円となりました。ここから令和3年度へ繰り越すべき財源8,767万1千円を差し引いた実質収支額は11億8,950万7千円となりました。

令和4年かすみがうら市議会第3回定例会報告

現在の課題

○2050年カーボンニュートラルは国際的な約束です。再生可能エネルギーを作り出す必要性に迫られています。

○人口が減り農地の荒廃が顕著です。

○地球温暖化で気温上昇、霞ヶ浦の水温上昇が顕著で、農畜産物の生産や漁業に影響がでています。

(来栖丈治一般質問抜粋)

霞ヶ浦に発電所、世界発信を

来栖丈治

霞ヶ浦の環境対策と併せて、湖面を活用した太陽光や風力、小水力発電などの再生可能エネルギーに取り組み、日本の先進事例として世界発信を通じた地域発展に結びつける政策を提案します。

高井産業経済部理事

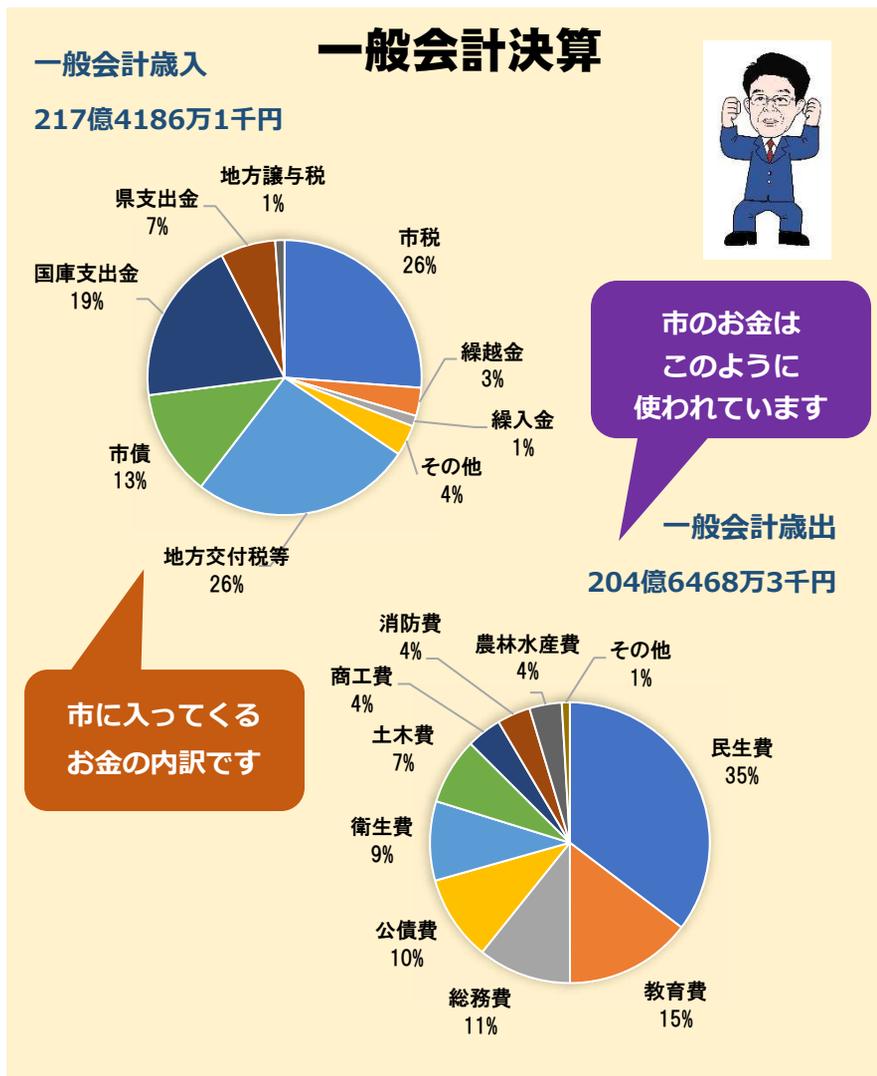
霞ヶ浦の環境保全是言うまでもなく、地域固有の資源を存分に活用し、脱炭素を実現する取組が今後の地域経済活動の活性化や地域内経済循環の実現に大きな影響を及ぼすものであると同時に、地域そのものの魅力を高めることにつながると考えています。

来栖丈治

県の研究資料に、西浦湖心の水温は夏期は2.5度、冬期は1.1度上昇がみられ、地球温暖化が霞ヶ浦の水温への影響が推測されると報告があります。霞ヶ浦に太陽光パネルで、湖面に日陰を作り水温上昇抑制を図ることで、漁業、あるいは飲料水、水田の揚水にもよい影響につながると考えます。さらに風力、水力発電も加え水の循環活用で水質浄化につながります。しかし、結局循環には動力電気が必要わけですね、ゆえに、霞ヶ浦から再生可能エネルギーを生み出すプロジェクトは大きな意味がありますので、経済産業省と協議し実証事業になることを私は期待しているわけですが、いかがでしょうか。

高井産業経済部理事

国においても2020年度に設定した再生可能エネルギー比率19.8%を36%~38%に引き上げることから、太陽光、水力、風力などの再生可能エネルギーミックスの重要性が伺えます。地域の魅力と質を向上させ



る地域特性に応じた先行的な取組は大事であると考えます。霞ヶ浦は当市が誇る地域資源であり、地域固有の資源霞ヶ浦を活用した再生可能エネルギーの利活用は、市民一人一人が地球温暖化対策に関心を持つこと、脱炭素社会の実現に向けた大きな一歩となるだけでなく、地域経済活動の活性化にも大きな効果をもたらすものと考えております。

議員ご指摘の視点も踏まえて、エネルギー源としての霞ヶ浦の利活用の可能性を探り、霞ヶ浦の環境対策と併せたエネルギー施策を検討したいと考えております。



来栖丈治

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言をする意思について伺います。

宮嶋市長

年度内表明の宣言に向け、市民一人一人に地球温暖化問題に関心を持っていただくこと。地球温暖化対策は国・県、市、事業者、市民全てが取り組まれるよう推進していく。国の目標に向けて本市も賛同し、官民一体となって市民や事業者の協力を得ながら進めていきます。

協同病院と連絡道建設・過疎対策

来栖丈治

霞ヶ浦地区の過疎対策として、雇用の確保や移住定住を図る意味で、加茂工業団地への企業誘致や周辺整備などの過疎対策の中心的位置づけが必要です。市長の見解を伺います。

高井産業経済部理事

加茂工業団地は過疎地域指定区域内の産業集積地域で有効に活用することが極めて重要であり、同団地を活用することが周辺の環境整備に

つながることも想定されます。現段階においては、加茂工業団地のポテンシャルを把握するとともに、今後の活用手法等を明確にすることが必要であると考えております。

来栖丈治

環境科学センターへの連絡道とおおつ野の協同病院から出てきたところの行き止まりの道があります。その間約1kmの新道建設で循環が生まれ、加茂の工業団地の価値を上げること、周辺の開発も含めて霞ヶ浦地区の過疎対策につながるわけです。いかがでしょうか。

高井産業経済部理事

道路を含む周辺環境のインフラ整備は工業団地のポテンシャルを高め、周辺地域への経済効果など、過疎地域対策にもつながる点で重要であると考えます。費用対効果や周辺環境なども考慮し、議員ご指摘の視点も踏まえ、同工業団地の価値を高める有効な環境整備を法令手続等も確認しながら検討していきたいと考えております。

荒廃農地一体面的活用を

来栖丈治

遊休農地や荒廃山林の対策は、人の減少ばかりでなく過疎地のもう一つの問題です。荒廃土地の有効活用を図るため、市が率先して政策誘導することが求められます。傾斜地など条件の悪い土地は借り手もいません。農地としての活用は無理な土地が増加しています。そこで、農地を面的に活用し再生可能エネルギーを導入する政策について、市長の見解を伺います。

大久保市民部長

本市の農林業における農業従事者の高齢化や後継者不足による農地などの荒廃化対策は重要であり、議員の質問にあります。条件が悪い場所は借り手がいない、農地としての活用ができないことは、課題と認識をしております。そういった耕作放棄地や遊休農地について、農地という利用ではなく太陽光発電などの再生可能エネルギーでの利用を検討することは大変有効と考えます。

しかしながら、農地という観点から農地法上の規制をクリアできれば、荒廃農地を太陽光発電などの再生可能エネルギー建設用地として活用しやすくなるのではないかと考えます。



コラム

旧統一教会問題で宗教が注目の的に

日本には、八百万の神々がいます。(出雲大社に参拝、神話初学び)

世界の多くは、神は唯一とする一神教です。しかし、日本には、八百万(やおよろず)という神々がいるとされます。これは、日本の風土が非常に豊かで多様性に富んでいる。木も川も山も、そこに暮らす生物、そして人間さえも自然の中で一部を構成し、共生する世界が日本の自然の姿です。日本に無数の神々がいらっしやることは、日本の自然の姿とそこに生きる日本人の精神世界を表しているのではないのでしょうか。

ありがとう!! 笑顔のつながるまちに

来栖丈治 (くるす じょうじ)

かすみがうら市議会議員 3期目

議会運営委員

総務委員会委員長

土浦かすみがうら土地区画整理一部事務組合議員 副議長

事務所 かすみがうら市戸崎 1110 番地

TEL.029-893-3339 FAX.029-893-3337



ホームページ